

東日本大震災

名古屋って、あったかくて、いいまちだなあ。

寄り添い、ゆっくりと、でも全力で応援します。



被災者支援ボランティアセンターなごやお知らせ

令和2年12月25日発行 (第127号)

本お知らせは、名古屋市に避難されてきた方に役立つ情報をお伝えするため、毎月25日に発行しています。みなさんのご意見・ご感想をお待ちしています

発行：東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや
〒462-8558 名古屋市北区清水4-17-1 5階
名古屋市社会福祉協議会 ボランティアセンター内
電話：070-5587-7153(平日9~17時)
FAX：052-917-0702
Eメール shien-vc@nagoya-shakyo.or.jp



2020年も終わり、間もなく2021年を迎えますが、東海3県の知事からは共同メッセージが出されています。県境を越える移動をする際は最新の注意をすること、飲食の場で十分注意すること、季節の行事なども感染防止対策を徹底することなどです。ストレスフルな日々が続きますが、抜く時は抜いて、もうひと頑張りしましょう。



今年もお世話になりました。来年もよろしくお祈りします。



年末になると、玄関や車に「しめ縄(しめ飾り)」が飾られている光景が見られます。一方神社などに大きな「しめ縄(しめ飾り)」が飾られているのを見たこともある方も多いでしょう。

この「しめ縄(しめ飾り)」は、『日本書紀』の「天岩戸」によると、太陽の神である天照大神は、弟の須佐之男命のいたずらに怒り、天岩戸に隠れてしまいました。そのため、世の中は真っ暗になってしまい、困った神々は天照大神に出て来てもらうため、賑やかに踊ったところ、それに気付いた天照大神は外に出て来たそうです。そこで、再び入ってしまわないように、岩戸に縄を張ったという話を由来としています。

「しめ縄」は漢字では、中国の風習と合わせて「注連縄」と書きますが、他にも「標縄」「七五三縄」「鉈縄」と書くこともあるそうです。

では、お正月にお家に「しめ縄(しめ飾り)」が飾られるのはなぜか?と言うと、新年の神様である年神様をお迎えする神聖な場所ということを示すため、玄関に飾るのが一般的だそうです。

この「しめ縄(しめ飾り)」を飾るのは、本来は12月13日のすす払い(今で言う大掃除)が終わり、年神様をお迎えする場が整ってから飾るものでしたが、現在は、クリスマスが過ぎた26日以降から飾り付ける家庭が多いようです。29日は9が「苦」を連想させる、31日に飾る一夜飾りも、31日早朝に神様が来るので手遅れ、1日だけしか飾らないのは神様に失礼などの理由で縁起が悪いと言われているそうです。

「しめ飾り」はしめ縄に、ウラジロ(清廉潔白・長寿)やユズリハ(子孫繁栄)、ダイダイ(家運隆盛)などの縁起物があしらわれたもので、今では華やかなものも売っています。

2021年のお正月は、家で過ごす方が多くなると思います。今年は、お正月を迎える準備を家族でゆっくりしてみるのも良いかも知れませんね。

今年も1年お世話になりました。良いお年をお迎えください。来年もよろしくお祈りします。



被災者支援ボランティアセンターまで事前にお申し込みください。

「革工芸の会」

革細工(レザークラフト)をボランティアさんに教えてもらいながら行います

日時:令和3年2月9日 火曜日 10時15分~12時 ※1月は会場等の都合により休止

会場:名古屋市総合社会福祉会館6階 録音編集室 (北区清水四丁目17-1 北区役所内)

持ち物:はさみ(よく切れるもの)、あればラジオペンチ 材料費:1回500円~(実費相当)

何ができるでしょう?

